

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31530
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第5節 都市農業の振興		農政課
施策名	農地の保全と農業基盤の整備	課長名	西丸三千則

1 施策の概要・目的

本事業は都市農業の振興を目的とし、特に農業振興地域の農用区域内において、農業生産性の向上、効率的な農業経営の確立を促進するため、土地改良法等に基づく事業として農道及び農業用排水路等の農業基盤の整備を実施するものである。

2 施策の現状

各地域における農業用施設においては、終戦直後の食糧増産による土地改良事業を行ったものであるが、施設の経年変化による老朽化は顕著で、地元農家からの改修要望が高い。

土地改良法等に基づく事業として特定財源を確保し、事業費の節減並びに事業実施時期の短縮を図りながら実施している。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

132,943 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

216 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 76 番目です。

(4) 施策に要している人員

4.28 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	農業基盤の整備率 =(整備済み面積 /全体整備計画面積)×100	農業基盤整備の進捗状況	28.4 ha 単位	0 50 100	22	目標年度
			111.7 ha 単位		25%	達成度
指標2			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

農用区域内の農業生産基盤の整備は、農業経営の安定を図る上で必要不可欠なものである。特に田については、ほ場全体面積の整備が大部分行なわれているが、現状では基幹農道の整備による道路拡幅や、経年変化に伴い老朽化した水路施設の再整備が求められている。これらの整備により、施設機能の充実と共に農業生産性の向上を図り、農家の安定経営を担っている。

6 有効性…期待される効果があがっているか

事業実施により、農業用排水施設の維持管理費の軽減、及び農道整備による走行経費の節減効果による農業経営向上効果の増大、農業用排水施設の機能回復による作物生産効果、農道整備による品質向上効果による農業生産向上効果が増大が得られている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

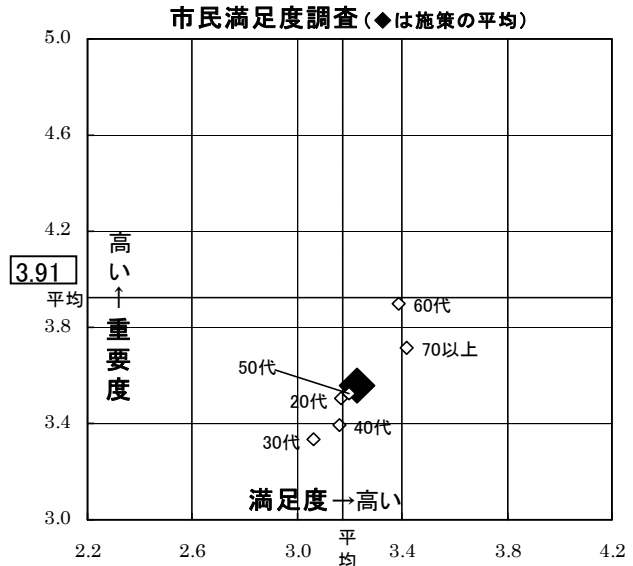
国庫補助金及び県費補助金等の特定財源の確保により、事業主体である市の投資額は事業費における割合からも約1/2程度に抑えられ、投資効率は非常に高い。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.226で、調査した51施策の中で17番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.559で、調査した51施策の中で44番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.236で、調査した51施策の中で45番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代で最も低くなっています。満足度が高いほど重要度も高くなる傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

農業従事者の高齢化や担い手不足による農業従事者の減少等が農地の保全や農業の振興の課題となる。又、土地改良法の改正等により整備にあたっては施設機能の向上と同時に、環境に配慮した整備手法が求められているため、整備費用の高騰を生じている。

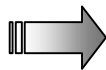
10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向

拡充する

現状維持する

見直し



説明及び具体的内容

今後とも特定財源の確保に努め、最小限の投資による最大の効果が望めるよう事業を推進する。又、施設整備に伴う維持管理費の軽減、農業生産性の向上、農業経営の安定化に努め、さらなる都市農業の発展を目指す。

11 2次評価

A

B

C

説明

農地の保全を図るためには、農業特区の活用など新たな施策展開を図ること。農業基盤整備については、その必要性、有効性を評価した上で取り組むこと。

12 外部意見

説明

必要性、有効性を考慮し、本市農業の振興のための事業を選択する必要がある。

施策名 農地の保全と農業基盤の整備

施策コード 31530

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要									今後の 進め方	施策 中の 優先 順位
					総合 評価	達成 度	必要 性	効率 性	代替 性	満足 度	有効 性	公平 性			
農業委員会運営費	農業委員会 事務局	14	39,749	3.00	AA	A	A	A	A	B	A	/	継続	他	
各種農業団体補助金	農政課	14	0	0.00	AA	/	A	A	A	A	A	/	継続	5	
新磯地区基盤整備事業	農政課	14	38,658	0.08	AAA	A	A	A	A	A	A	/	継続	2	
農道等維持管理費 (相模川左岸土地改良負担)	農政課	14	0	0.00	AA	/	A	A	A	A	A	/	継続	県	
農道等維持補修費 (諏訪森下用水路補修)	農政課	14	546	0.03	AA	/	A	A	A	A	A	/	継続	4	
農道等整備事業 (中島2号排水路)	農政課	14	11,894	0.04	AAA	A	A	A	A	A	A	/	継続	3	
農業者年金事務費	農業委員会 事務局	14	1,097	0.08	AA	A	A	A	B	A	A	/	継続	他	
農地調整事務費	農業委員会 事務局	14	16	0.00	AAA	A	A	A	B	A	A	/	継続	他	
農道等調査測量設計委託	農政課	14	8,262	0.42	AA	/	A	A	A	B	A	/	継続	1	
農地台帳整備費	農業委員会 事務局	15	357	0.10	AA	A	B	A	/	/	A	A	継続	他	
農業経営基盤強化促進事業	農業委員会 事務局	15	2,557	0.30	B	B	B	C	/	/	B	A	見直し	他	
農地情報管理システム整備 事業	農業委員会 事務局	14	5,205	0.08	AAA	A	A	A	A	A	A	/	完了		
水と花と緑のこみち 整備事業負担金	農政課	15	3,454	0.01	AAA	A	A	A	/	/	A	A	完了廃止済		
農道等用地購入事業	農政課	14	11,020	0.00	AAA	/	A	A	A	A	A	/	完了		
農業農村整備事業実施計画 策定事業	農政課	14	3,125	0.08	AA	/	A	A	A	B	A	/	完了		
農用地基本調査事業	農政課	14	7,003	0.06	AA	/	A	A	A	A	A	/	完了		

合計 16 事務事業

132,943 千円 4.28 人 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性